



うちのイチ押し!

咲くやこの花館

ハワイの植物展 – Mohala o Koki`o –

2018年 5/8(火)～6/24(日) 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

月曜休館 【入場料】500円(中学生以下無料)

【協力】日本ハイビスカス協会 Lei Ha'aheo o Kaua'i, Hawaiian Days Project

2018年はハワイ州の花でもある『ハイビスカス』に焦点をあてて展示イベントを行ないます。



ハワイを知る ハワイアンキルトの展示

心を込めて作られた20点にも及ぶハワイアンキルトの展示です。キルトの歴史や神話、縫い込まれた植物の説明もあわせてお楽しみ下さい。

【場所】2F花回廊

ハワイを学ぶ

①第148回咲くや塾「ハイビスカス-Koki`o-」

【日時】5/26(土) 13:30～15:00

【参加費】無料(入館料別) 【定員】70人

【場所】2Fフローラルサロン

②ワークショップ「Lei making –キーリーフ–」

悪い物を寄せ付けないといわれる植物「キー・キ」の葉を使いレイを編んでいきます。

【日時】6/2(土)、3(日) 13:30～15:00

※材料のTi(ティー)はハワイ語でKi(キー)と発音されます。

【定員】各日25人 【参加費】3,500円(入館料別)

【場所】1Fフラワーホール

【申込・受付】①②ともに電話(6912-0055)にて先着順

ハワイを育てる ハワイの植物、ハイビスカスの販売

普段手に入らない植物を育ててみませんか?

※植物は、なくなり次第終了。

【日時】6/9(土)、10(日) 【場所】1Fフラワーホール

ハワイを踊る ステージイベント

太陽の光が注ぐステージでハワイの音楽と踊りの融合をお楽しみください。

【日時】6/9(土)、10(日) 13:00～より開催予定

【場所】1Fフラワーホール

ハワイを持ち帰る ハワイアングッズの販売

【日時】6/9(土)、10(日)

【場所】1Fフラワーホール

ハワイを巡る 「ハワイフラワーツアー」特別編

【日時】6/23(土) 13:30～

【参加費】無料 【定員】25人

【受付】当日30分前より館内案内所にて先着順

【集合場所】館内案内所前

【問合せ】☎6912-0055 ☎6913-8711

(施設情報はP11に掲載しています)

ハワイを味わう

期間中ハワイにちなんだフードやドリンクを販売。ロコモコ・パンケーキなどをお楽しみ下さい。※ラストオーダーは15:00

【場所】1Fレストラン

おおさか歴史探訪 123

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。



信濃橋洋画研究所 — 大阪における洋画研究の拠点 —

わが国の近代洋画は、初期には主として官が中心となって発展しました。しかし新進の芸術家が育ってくると、新旧の価値観の違いが顕著になり、アカデミズム化され固定化された国家主導の流れに反発する傾向が現れ、二科会(大正3(1914)年)などの在野の団体が生まれてきました。

関西においてこのような活動をすすめていた黒田重太郎、国枝金三、小出栖重の3名は、関東大震災後に大阪に戻った鍋井克之とともに、大正13(1924)年4月、大阪市西区信濃橋にあったビルの3・4階を借り切って、信濃橋洋画研究所を開設しました。洋画壇進出をめざす若い芸術家が増えてきたことも理由のひとつです。家賃は高額でしたが、文化人のクラブをつくりたいという船場の木綿問屋主人の援助などを得て、開設にこぎつけました。講師は無報酬で黒田、国枝、小出、鍋井が1週間交代で担当しました。理論と実践を組み合わせた特色ある教育で、広く素人画家にも門戸を開いて洋画の普及に努めたことや、『週刊朝日』の後援を得て夏季講習会などをおこなったため、信濃橋洋画研究所の名前は全国に広がりました。

この時4名はいずれも30歳代後半の最も充実した時期であり、この4人が一堂に会して指導に当たったことは、大阪の洋画壇の発展にとって大きな意味をもっていました。

その後昭和6(1931)年に中之島に移転し、中之島洋画研究所と名を改めました。戦時下においてもなお活動を続け、昭和19(1944)年6月に幕を閉じるまで、多くの画家を輩出しました。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



「信濃橋洋画研究所跡」の石碑
(西区鞆本町1-11)